



南舞岡小だより

学校教育目標「学ぼう つながろう 切り拓こう」

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (TEL823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>



人に学ぶ

副校長 佐藤 朋実

立夏を過ぎ、今年の5月は雨も多かったのですが、月末に近付くにつれて急に日中の気温が上がるようになり、熱中症対策にも気を配らなければならない気候となりました。3年ぶりに春開催となり、ご家庭に急遽の対応もお願いしたスポーツフェスティバルでしたが、おかげ様で無事に終えることができました。ありがとうございました。

ご挨拶が遅れましたが、4月に赴任いたしました佐藤朋実と申します。自然豊かな南舞岡の環境に少しずつ慣れてきたように思いますが、まだまだ不慣れなことも多いことと存じます。どうぞよろしくをお願いいたします。

4月の中旬から下旬ころ、ウグイスの鳴き声をよく耳にしました。その時、学校周辺で聞く鳴き声と自宅から最寄り駅までの道中で聞く声とでは明らかに学校周辺の方が上手であることに気がきました。学校の近くでは「ホーホケキョ」とお馴染みの鳴き声が聞こえるのですが、自宅の方では「ケキョ・ケキョ」など練習中かなと思われるような鳴き声が多かったのです。昨年まではそれが当たり前でだんだんと上手になっていくものと思っていましたが、舞岡のウグイスは早い時期から上手でびっくりしました。本当の理由は分かりませんが、舞岡公園など木々が多く、お手本になる成鳥も多いせいではないかと考え、習う環境が整っていることで習得も早いのだろうと勝手に納得していました。

さて、コロナ禍といわれるようになって3年目の今年度は、中止や縮小を余儀なくされてきた活動についても、改めて意義や目的を考え、感染防止対策を考慮しながら方法を検討して、できるところから再開しています。その中の一つに「なかよし活動」があります。この2年間は異学年交流を常時行うことが難しかったのですが、今年度は、年度当初から1～6年生で構成する「なかよし班」をつくり、顔合わせの活動の後、さっそくスポーツフェスティバルに向けて応援グッズづくりや全校種目「全力みなまいながなわ」の練習に取り組みました。なかよし班では学年に応じたねらいや役割がありますが、活動を進めるうえでは特に高学年（ペア学年では上学年）の役割が大切になります。今回の活動でも、6年生が班全体に向けて話をして活動を進めたり、5年生が校庭で班の場所を示すプラカードを持ち、やってきた下級生に声をかけてまとめたりする様子が見られました。また、それぞれのペア学年の1・2年生が安心できるように声をかけ、活動を手助けしていました。2年間のブランクがありましたが、5・6年生にはきっと自分が1・2年生だったときに上級生にしてもらったことや班活動での姿が記憶にあり、どのようにすればよいのかを考えたのではないかと思います。

周りの人の言動から学び、身に付けて成長していくことは、集団活動や周りの人との関わりの中で自然にできるようで難しいところがあります。学校の「隠れたカリキュラム」の一つとも言えますが、舞岡のウグイスのように環境を整え、子ども自らの成長を促すことも大切にしていきたいです。